

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.363】(HP 収載)

分類：放送

局等：Eテレ

作曲家：ヨハン・シュトラウス 1 世他

曲名：自由行進曲他

演奏：リカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

関連サイト：[Eテレ]2025年1月1日(土) 午後 19:00～午後 22:00

2025年1月1日ウィーン楽友会館大ホールにおける演奏です。



放送予定プログラムは下記のとおりでした。

【出演】

演奏 リカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

ゲスト 夏木 マリ

司会 林田理沙 (アナウンサー)

【楽曲】

第一部

ヨハン・シュトラウス 1 世：自由行進曲

ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ《オーストリアの村つばめ》

ヨハン・シュトラウス 2 世：取りこわしポルカ

ヨハン・シュトラウス 2 世：入江のワルツ

エドゥワルト・シュトラウス：ポルカ・シュネル《軽やかに、匂やかに》

第二部

ヨハン・シュトラウス 2 世：歌劇《ジプシー男爵》序曲

ヨハン・シュトラウス 2 世：加速度円舞曲

ヨーゼフ・ヘルメスベルガー2世：喜歌劇《すみれ娘》序曲
コンスタンツェ・ガイガー：フェルディナンド・ワルツ（ヴォルフガング・デルナー編）

ヨハン・シュトラウス2世：ポルカ・シュネル《あれか、これか！》

ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ《トランスアクツィオン》

ヨハン・シュトラウス2世：アンネン・ポルカ

ヨハン・シュトラウス2世：トリッチ・トラッチ・ポルカ

ヨハン・シュトラウス2世：ワルツ《酒、女、歌》

アンコール曲

ヨハン・シュトラウス2世：ワルツ『美しく青きドナウ』

ヨハン・シュトラウス1世：行進曲「ラデツキー行進曲」

DMR-UBZ1の録画再生もPCによるNHK+の再生は、スピーカーアキュライザーのマイナス端子にCrystal Ep-Yを追加し、各所のアースケーブルをアースアキュライザーに交換した効果も確認することになります。

試聴と録画、録音は下記のとおり実施しました。

1月1日のEテレはDMR UBZ1の再生と録画と同時に、PCによるNHK+の配信のEテレの受信で並行して切り替えながら試聴しました。放送のEテレとNHK+のEテレの瞬時切り替えの結果は、音質的には、これまではNHK+が劣っているように感じていましたが、今回のリアルタイムの比較では、ほぼ同等と言えます。なお、NHK+の方が放送のEテレより少し遅れがあります。



DMR UBZ1からの再生TV画面



PCによるEテレのNHK+受信画面

Eテレの放送の録画はリアルタイムで実施、その後にDA-3000で5.6MHzDSFフォーマットでDSD録音しました。NHK+のEテレは、翌日アーカイブの配信からDSD録音しました。両者のDSD録音のfidata HFAS10-S1からBrooklyn DAC+への送り出しの再生では、リアルタイム再生と同様、両者の差が感じられません。ちなみに、昨年は能登半島地震のためリアルタイム録音、録画ができず、再放送、再配信でしたので、それらのDSD録音も聴いてみましたが、これらも昨年よりグレードが上がっている印象です。

再放送については、Eテレの再放送も録画し、NHK+のEテレの再放送のアーカイブの配信も試聴しました。試聴に際してBrooklyn DAC+の仮想アースCrystal Eを一時的にCrystal E-Gに置き換えています。

再放送の録画再生とNHK+のアーカイブ配信の瞬時切り替えの結果では、1月1日の放送と配信と同様、ほぼ同等と言えます。なお、NHK+の方が放送のEテレより少し遅れがあり、音量も小さめです。従って瞬時切り替えとは言え、放送の方を先行して聴き、NHK+を追いかけて聴いて、音質を比較できます。

以上において、スピーカーアキュライザーへのCrystal Ep-Gのセットやアースアキュライザーや一時的なCrystal E-Gの置き換え効果で、ウィーンフィルらしい繊細な弦や中低域の厚みなど、これまでにないレベルの音質になっていることが確認できました。

なお、収録されたものが、後日CDやアナログ盤で発売予定とのこと。

<https://tower.jp/item/6667003>



以上